

事業番号	04 03 02	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域の交通安全を推進するための事業		部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課
			実施期間	S45 ~	E-mail	kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年の交通事故発生件数8,301件。平成17年から12年連続減少し、4年連続で1万件を下回る。 ○平成28年の死者数は121人(前年比+52人)。減少基調にあった死者数が平成19年の水準に逆戻り。 ○平成29年の死傷者数は9,803人で、現行のしあわせ信州創造プランの目標値10,000人以下を達成。 ○交通事故被害者等が抱える補償問題(示談の進め方、過失の程度等)や生活問題(労災・社会保険等の利用、生計の維持等)の解決を支援できる唯一の公的相談機関として交通事故相談所を設置。(H28年度相談実績:1,119件) 	30年度 決算額	16,572 千円
		職員数	9.00 人
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全関係機関・団体、市町村等と連携して、交通ルールを守り正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより県民の交通安全意識を高め、交通事故の総量抑制と交通事故死傷者数の減少を図ることで、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現を目指す。 成果目標:交通事故死傷者数 9,805人(H29) → 8,500人以下(H34) ○交通事故被害者等が抱える補償問題や生活問題等の解消を目指す。 <p>(主な実施内容: 交通安全啓発、交通事故相談など)</p>		

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況				
	No	成果指標	29年度	30年度					
				目標値	成果	達成状況			
予算額	前年度繰越								
	当初予算	19,785	17,479	22,118					
Aの財源	補正予算								
	合計(A)	19,785	17,479	22,118					
	一般財源	19,740	17,449	22,080					
	県債								
決算額(B)	国庫支出金								
	その他	45	30	38					
概算人件費	職員数(人)	9	9.00	9					
	概算人件費(C)	72,918	73,962	73,962					
	概算事業費(B(A)+C)	91,614	90,534	96,080					
備考					成果指標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策の成果を図る上で最も適した指標と考えられるため ・第10次長野県交通安全計画(H28~R2)において、死傷者数9,000人以下を掲げているため 			

目標に対する 成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故による死傷者数は、平成29年に比べて約1割減少し、目標値を達成した。 ・また、死傷者数の起因となる交通事故発生件数も、平成17年以降14年連続して減少した(H30:7,251件)。 ・県警察、市町村、関係団体等と連携した啓発活動等による成果が現れているものと認識している。 ・平成31年3月、「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」を制定し、「長野県自転車活用推進計画」を策定した。
-----------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故死者数に占める高齢者の割合は半数を超えている。「高齢者が事故に遭わない、起こさない」ための啓発活動を重点的に取り組む必要がある。 ・また、子どもが被害者となる死亡事故が2件発生し、傷者も444人となっている。将来を担う子どもを交通事故から守るための対策が必要である。 ・さらに、自転車利用中の事故は、近年、全交通事故件数の10%台前半で推移しており、死傷者の7割以上が誤った通行をしている。自転車の安全な利用促進を図る上で、正しい通行ルールの徹底とマナーの向上が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関等と連携しながら交通安全意識の醸成と定着を図り、地域の交通情勢や事故発生状況に応じた対策を講じながら、安全で安心な県民生活の実現を目指す。 ・交通事故相談所においては、被害者が抱える諸問題の解消に取り組むとともに、公的機関で唯一運営されている相談窓口であることについて広く周知を図る。 ・また、ライフステージに応じた安全教育の充実や万が一の事故に備える自転車損害賠償保険等への加入促進を図り、「安全・安心な県民生活の確保」と「自転車の利用促進」を基本理念とする「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」を実効あるものとする取組みを進める。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		交通安全運動推進事業	長野県交通安全対策会議の開催、長野県交通安全実施計画の策定、長野県交通安全運動推進本部顕彰表彰等を行った。	1.30	2,371	2,189	2,329
2		交通安全啓発活動事業	季別の交通安全運動を始めとする啓発活動を実施した。	4.30	2,261	1,956	2,241

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度	
					(当初)	(決算)	(当初)	
3		交通事故相談所運営事業	県内3箇所を設置する交通事故相談所及び巡回相談による相談支援を実施した。	1.40	12,701	12,176	13,467	
4		安全安心な自転車の利用促進施策のあり方検討事業	自転車関係団体等で構成される検討連絡会議や県民意見交換会等を通じて広く意見を伺いながら検討を重ね、「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」を制定し、「長野県自転車活用推進計画」を策定した。	2.00	146	251	4,081	
				合計	9.00	17,479	16,572	22,118

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	地域の交通安全を推進するための事業				部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	
1	交通安全運動推進事業	交通安全対策会議	直接	第10次長野県交通安全計画に基づく「平成30年度長野県交通安全実施計画」の作成	長野県交通安全対策会議を開催し、第10次長野県交通安全計画に基づく「平成30年度長野県交通安全実施計画」を作成した。	計画通り ○	124	232	232		83	
1	交通安全運動推進事業	交通安全運動推進本部顕彰等	直接	模範的な交通安全活動をしている県民・団体を表彰 ・優良運転者、功労者・団体、死亡事故ゼロ市町村	優良運転者、交通安全の推進に功労のあった個人・団体、効果的な対策を実施した市町村に対して表彰を行った。	計画通り ○	740	726	726		477	
1	交通安全運動推進事業	交通安全運動推進本部及び地方部運営事業	直接	県の交通安全啓発活動を行う公用車の維持管理費用等	交通安全啓発活動を行う公用車の維持管理等を行った。	計画通り ○	1,561	1,413	1,413		1,629	
2	交通安全啓発活動事業	交通安全運動推進本部啓発活動事業	直接	季別交通安全運動で使用する啓発物品等の購入 ・ポケットティッシュ等の啓発物品の購入や印刷物の作成費用 ・立看板や事務用品等	季別交通安全運動の実施要綱の印刷・配布、啓発物品等の調達を行った。	計画通り ○	1,156	1,061	1,061		685	
2	交通安全啓発活動事業	交通安全運動推進地方部啓発活動事業	直接	県の現地機関が行う啓発物品等の費用 ・地域別重点啓発活動事業の反射材等の購入等	地方部（地域振興局）の特性に合わせた啓発活動を行った。	計画通り ○	800	800	800		871	
2	交通安全啓発活動事業	（一社）長野県ダンブカー協会補助金	補助金	協会が実施する交通安全対策事業（事業者や運転者への研修会や過積載防止パトロール等）への補助（補助対象経費の1/2以内）	協会が実施する交通安全対策事業への補助を行った。	計画通り ○	400	400	400		400	
3	交通事故相談所運営事業	交通事故相談員報酬等相談所運営費	直接	県内3か所に常設の相談所を設置するとともに巡回相談を実施 ・交通事故相談員5名の人件費 ・電話代や相談記録カード作成等の物件費 ・研修会や会議の旅費 等	県内3か所に常設の相談所を設置するとともに、巡回相談を実施した。	計画通り ○	14,753	16,331	12,701		12,176	
4	安全安心な自転車の利用促進施策のあり方検討事業	安全安心な自転車の利用促進施策の検討	直接	長野県自転車条例（仮称）の策定を視野に入れた総合的な自転車施策のあり方について検討 ・検討連絡会議の開催	自転車関係団体等で構成される検討連絡会議や県民意見交換会等を通じて広く意見を伺いながら検討を重ね、「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」を制定し、「長野県自転車活用推進計画」を策定した。	計画通り ○	251	271	146		251	
合 計								19,785	21,234	17,479	0	16,572